

川を愛する会

# 水木、羽賀氏に感謝状

## 通常総会で全議案承認

あおもりの川を愛する

会(会長・佐々木幹夫八戸工業大学名誉教授)は16日、青森市新町1丁目のアラスカで2024年度通常総会を開催し、新年度事業計画案を含む全議案を原案通り承認した。新年度は①サークル活動②河川文化講演会③「源流域の地」標柱建立④奥入瀬溪流・蔦川の清掃活動⑤イワナの産卵床づくりーなどの諸事業を展開し、県内の河川に関する文化発展に一層取り組むことにした。

むことにした。

総会には会員約40人が出席。冒頭、佐々木会長はコロナ禍に伴い中止を余儀なくされていた諸事業が前年度から再開されたことを喜びながら、「将来の子供達に良い川を残すため、引き続き諸活動への協力をお願いする」とあいさつ。次いで、日本河川協会の志賀文夫常務理事・事務局長が来賓として祝辞を述べた。議事では、前年度事業報告および収支決算、新

年度事業計画案および収支

予算案など全

ての議案を全

会一致で承認

するとともに

に、花田一之、

羽賀義弘、石

岡忠則、伊藤

文二の各幹事

が昨年度の活

動状況を解説

した。

また、同会

の主要活動の一つである

「蔦川イワナ人工産卵床

づくり」に長く関わった

功績により、佐々木会長

が水木靖彦、羽賀義弘の

両氏に感謝状をそれぞれ



感謝状を受け取る水木(左から1人目)、羽賀(同3人目)の両氏

贈呈し、功労を讃えた。

閉会后には、元県史編さん近世部会執筆協力員の本田伸氏による講演会や懇親会が順次行われた。